

ニューヨークフィルムアカデミー特別講座
Filmmaking Workshop in Gunma 2026 募集要項
<企画演出分野（脚本家・監督・プロデューサー）>

1 はじめに

（１）講座概要

この講座は、米国に本部を置く世界的な映画教育機関ニューヨークフィルムアカデミー（New York Film Academy：NYFA）と連携し、ハリウッドの第一線で活躍する講師から映画制作の各専門職（脚本家・監督・プロデューサー）がどのように協働して作品を作るのかを学ぶ実践型講座です。

受講者は脚本家・監督・プロデューサーのいずれかのコースに所属し、約 4 か月間のオンライン講座を通じて映画制作の知識を学びつつ、5～7 分程度のショートフィルム制作の企画を立案します。

その後、群馬県内で実施する 7 日間の対面ワークショップに参加し、撮影・照明・録音スタッフとチームを組みながら、実際に受講者全員でショートフィルム作品を撮影し、完成させます。完成作品は上映会で発表し、NYFA 講師から講評を受けることができます。

（２）この講座で得られること

本講座では、NYFA が掲げる「Learning by Doing（実践を通じて学ぶ）」の理念のもと、映画制作に必要な以下の知識・技法を実践的に学びます。

・脚本家コース

映画の物語構造、キャラクター設計、テーマ設定、映画脚本の執筆・改稿手法

・監督コース

映像によるストーリーテリング、演技指導、カメラアングルと画面構成、リハーサル技法

・プロデューサーコース

企画開発、スケジュール作成、予算管理、キャスティング、映画ビジネスの基礎

・対面ワークショップでの制作実習（全コース）

チームによる映画制作、ロケ撮影、編集、音響・仕上げ

（３）本講座のレベル

本講座は映画制作未経験者向けの入門講座ではありません。

映画・映像制作の基礎知識や制作経験を有する方を対象としており、すでに学習経験や制作経験のある方が、より実践的・専門的な映画制作手法を学ぶ講座です。

（４）こんな方におすすめ

- ・映画・映像系の大学や専門学校で学んでいる方
- ・映像制作会社等で働く方
- ・自主制作映画や映像作品を制作している方
- ・映画・映像作品の企画・演出・プロデュースに関心があり、自身の作品や企画を国内外に発信したい方

※なお、撮影、照明、音響、録音等を扱う「撮影技術分野」の講座は、別途募集予定です。

(5) 講座スケジュール

本講座は、専門分野を学ぶオンライン講座、チームでの制作準備、実際にショートフィルムを制作する対面ワークショップの3段階で構成されています。受講者はオンライン講座で各分野の専門知識を学びながらチームで作品制作の準備を進め、その成果をもとに群馬県での対面ワークショップに参加します。

ステップ1 オンライン講座 (2026年9月～2027年1月)

脚本家コース

- ・2026年9月26日(土)～11月7日(土)全7回 (毎週土曜日、各回9:00～13:00)
- ・映画脚本の構成、ストーリー開発、キャラクター設計、対話表現などを学びながら、ショートフィルムの脚本を執筆します。

監督コース

- ・2026年10月24日(土)～12月12日(土)全7回 (11月28日(土)を除く毎週土曜日、各回9:00～13:00)
- ・映像によるストーリーテリングや演出手法を学びながら、担当作品の演出プランを構築します。

プロデューサーコース

- ・2026年10月24日(土)～12月12日(土)全7回 (11月28日(土)を除く毎週土曜日、各回9:00～13:00)
- ・企画開発、予算管理、スケジュール作成、キャスティングなど、作品制作を支えるプロデューサー業務を学びます。

全コース共通講座「ポストプロダクションと音響デザイン」

- ・2027年1月9日(土)・1月16日(土)全2回 (各回9:00～13:00)
- ・映画編集およびサウンドデザインの基礎を学び、対面ワークショップに向けた準備を行います。

ステップ2 制作準備

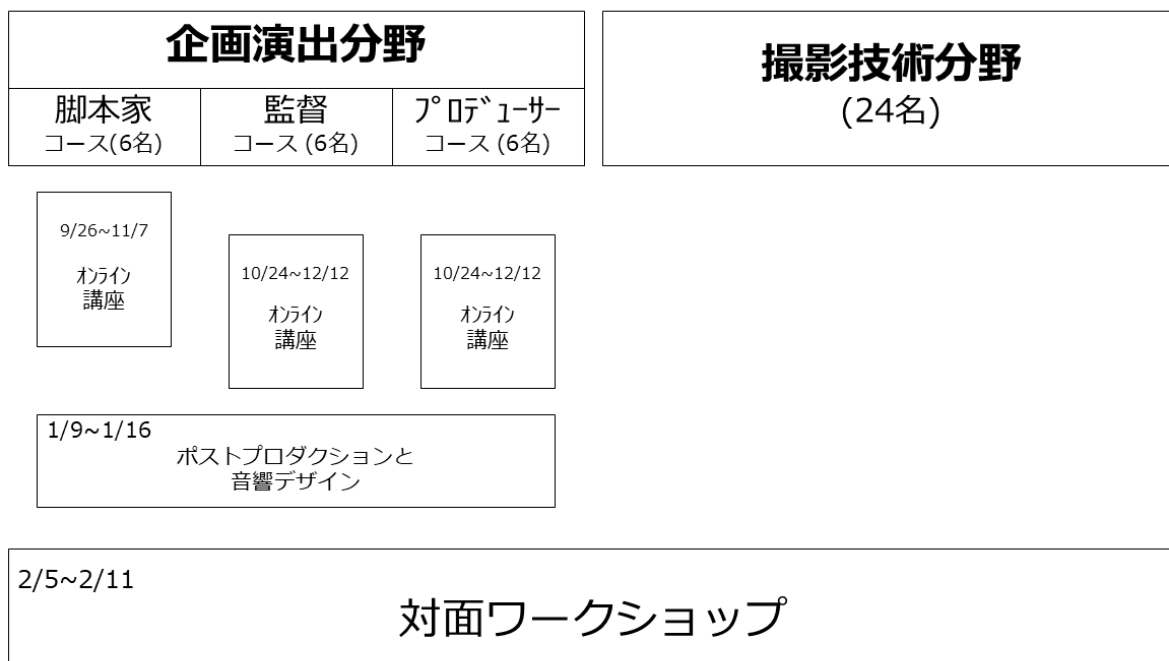
- ・受講者同士でチームを編成(脚本家1名、監督1名、プロデューサー1名)し、それぞれの映画企画について脚本改稿、撮影計画、キャスティングなどを進めます。オンライン講座期間から対面ワークショップ開催前にかけては、受講日以外にもチームで作品制作の企画検討する時間の確保が必要となる場合があります。

ステップ3 対面ワークショップ (2027年2月)

- ・2027年2月5日(金)～2月11日(木・祝)の7日間、群馬県庁昭和庁舎にて実施します。
- ・脚本家・監督・プロデューサーに加え、撮影・照明・録音担当者とチームを組み(各チーム計7名)、ショートフィルムを撮影します。制作実習時、脚本家コースの方はスクリプター、プロデューサーコースの方は助監督の役割を担っていただきます。

- ・撮影した映像を編集し作品を完成させます。最終日に上映会を実施し、NYFA 講師から講評を受けます。

(6) 講座全体の流れ (イメージ)



2 講座実施概要

(1) 開催期間

オンライン講座 2026 年 9 月～2027 年 1 月

対面ワークショップ 2027 年 2 月 5 日（金）～2 月 11 日（木・祝）

(2) 対面ワークショップ会場

群馬県庁昭和庁舎（群馬県前橋市大手町 1-1-1）

(3) 募集コース

脚本家コース、監督コース、プロデューサーコース

(4) 募集人数

各コース 6 名（計 18 名）

3 コース詳細

映画制作における自らの志向や将来のキャリアに応じて、次の 3 コースから 1 つを選択して応募してください。なお、対面ワークショップでは、各コースの受講者からなるチームを組み、1 本のショートフィルムを共同制作します。

(1) 脚本家コース

将来、脚本家として活躍することを目指している方を対象に、映画の出発点となる「物語」を創り出す力を磨きます。ストーリー構造、テーマ設定、登場人物の設計、セリフ表現などを学びながら、ショートフィルムの脚本を執筆します。また、監督・プロデューサーと協働しながら脚本をブラッシュアップし、実際に撮影される作品へと発展させます。

日時	内容
2026 年 9 月 26 日（土） 9:00～13:00	・ショートフィルムにおける物語構成の基礎 ・短編脚本の要件提示とピッチ課題の割り当て
2026 年 10 月 3 日（土） 9:00～13:00	・脚本構成と物語技法の分析 ・短編脚本のピッチ発表、講師と受講生によるフィードバック
2026 年 10 月 10 日（土） 9:00～13:00	・脚本へのフィードバックの活かし方、初稿への取り組み方 ・ショートフィルムのアウトライン提出期限、フィードバック
2026 年 10 月 17 日（土） 9:00～13:00	・優れたショートフィルムの事例に関するディスカッション ・初稿の読み合わせ、フィードバック
2026 年 10 月 24 日（土） 9:00～13:00	・第 2 稿の読み合わせ ・監督・プロデューサーコースへ脚本の共有
2026 年 10 月 31 日（土） 9:00～13:00	・監督・プロデューサーからのフィードバック共有 ・第 3 稿の提出、講師からの制作承認
2026 年 11 月 7 日（土） 9:00～13:00	・最終講評、監督・プロデューサーとのリライト計画 ・脚本家としてのキャリア形成
2027 年 1 月 9 日（土） 9:00～13:00	・映画編集の理論と編集ソフトの基礎

2027 年 1 月 16 日 (土) 9:00～13:00	・ ポストプロダクションにおけるサウンドデザイン
2027 年 2 月 5 日 (金) ～11 日 (木)	・ 対面ワークショップ

(2) 監督コース

将来、映画監督として活躍することを目指している方を対象に、映像によって物語を表現するための技術と考え方を学びます。演技指導、画面構成、カメラ演出、リハーサル手法などを学びながら、脚本家コースのチームメンバーが作成した脚本をもとに、自らが監督としてショートフィルムを完成に導きます。映画監督に求められる創造力とリーダーシップを実践的に身につけます。

日時	内容
2026 年 10 月 24 日 (土) 9:00～13:00	・ 映画監督の役割と映画制作における位置づけ ・ 脚本の読み合わせ、担当作品の決定と演出方針の検討
2026 年 10 月 31 日 (土) 9:00～13:00	・ 映画演出の基礎技法 ・ 脚本の映像化に向けた検討
2026 年 11 月 7 日 (土) 9:00～13:00	・ 作品のジャンルやテーマに応じたショット設計 ・ 監督・撮影監督・編集者の連携
2026 年 11 月 14 日 (土) 9:00～13:00	・ 優れた映画作品のシーン分析発表 ・ 演出技法の分析
2026 年 11 月 21 日 (土) 9:00～13:00	・ 演技指導やリハーサル手法 ・ 俳優とのコミュニケーション方法の実践
2026 年 12 月 5 日 (土) 9:00～13:00	・ 脚本の再読、脚本家との改稿に関する議論 ・ 撮影スケジュールの作成、講師からの制作承認 ・ キャスティングとロケーションの検討
2026 年 12 月 12 日 (土) 9:00～13:00	・ 演出プランの最終発表 ・ 撮影準備資料の完成
2027 年 1 月 9 日 (土) 9:00～13:00	・ 映画編集の理論と編集ソフトの基礎
2027 年 1 月 16 日 (土) 9:00～13:00	・ ポストプロダクションにおけるサウンドデザイン
2027 年 2 月 5 日 (金) ～11 日 (木)	・ 対面ワークショップ

(3) プロデューサーコース

将来、映画プロデューサーとして活躍することを目指している方を対象に、映画制作プロジェクトを実現するための企画・運営能力を学びます。企画立案、予算管理、スケジュール作成、キャスティング、映画ビジネスなどを幅広く学び、作品を完成まで導くプロデューサーの役割を理解します。

日時	内容
2026 年 10 月 24 日 (土) 9:00～13:00	・映画プロデューサーの歴史と役割 ・各種プロデューサーのタイプと役割の違い ・映画史におけるプロデューサーのケーススタディ
2026 年 10 月 31 日 (土) 9:00～13:00	・クリエイティブ・プロデュースの基礎 ・企画開発、権利処理、脚本家や監督との協働
2026 年 11 月 7 日 (土) 9:00～13:00	・ラインプロデュースの実務 ・脚本分析、コスト管理、撮影スケジュールの作成
2026 年 11 月 14 日 (土) 9:00～13:00	・映画業界に影響を与えた著名プロデューサーの事例研究発表
2026 年 11 月 21 日 (土) 9:00～13:00	・提供された脚本をもとに、具体的な制作計画を立案
2026 年 12 月 5 日 (土) 9:00～13:00	・制作計画の発表と講評、撮影に向けた実務的な準備の検討 ・講師からの制作承認
2026 年 12 月 12 日 (土) 9:00～13:00	・映画ビジネスの基礎と関係者との連携 ・映画のライフサイクルとプロデューサーの役割
2027 年 1 月 9 日 (土) 9:00～13:00	・映画編集の理論と編集ソフトの基礎
2027 年 1 月 16 日 (土) 9:00～13:00	・ポストプロダクションにおけるサウンドデザイン
2027 年 2 月 5 日 (金) ～11 日 (木)	・対面ワークショップ

(4) 対面ワークショップについて

オンライン講座で準備した脚本・演出プラン・制作計画をもとに、脚本家、監督、プロデューサー及び撮影技術分野の受講者がチームを組み、約 5～7 分のショートフィルムを制作します。各日の主な内容は次のとおりです。

日程	内容
2027 年 2 月 5 日 (金) (1 日目)	監督・プロデューサー・脚本家が講師とともに脚本や演出プラン、制作計画等の最終確認を行います。脚本家にはスクリプター、プロデューサーには助監督としての役割についてレクチャーも行います。
2027 年 2 月 6 日 (土) (2 日目)	グループ別のスタッフミーティングを行います。各グループ 7 名がそれぞれの役割を確認し、制作実習時の計画について議論します。 撮影スケジュールやショットリストを含む、撮影プロジェクトの発表を行い、講師からフィードバックと制作承認を受けます。
2027 年 2 月 7 日 (日) (3 日目)	俳優とのリハーサルや配置の確認（ブロッキング）を実施し、本番撮影に向けた準備を行います。
2027 年 2 月 8 日 (月) (4 日目)	ショートフィルムの撮影を行います。 脚本家はスクリプター、プロデューサーは助監督の役割を担います。
2027 年 2 月 9 日 (火) (5 日目)	ショートフィルムの撮影を行います。 脚本家はスクリプター、プロデューサーは助監督の役割を担います。
2027 年 2 月 10 日 (水) (6 日目)	編集作業を行い、作品を完成形に近づけます。音響調整等も実施します。
2027 年 2 月 11 日 (木) (7 日目)	編集作業の仕上げを行った後、完成作品の上映会を実施し、NYFA 講師から講評を受けます。

4 応募要件

(1) 応募者に必要な要件

以下のすべてに該当する方。

- ・満 19 歳以上の方（2027 年 4 月 1 日時点）
- ・映画・映像制作に関し、次のいずれかの経験を有する方
 - ①映画・映像系の大学、専門学校等で 1 年以上の学習経験がある方
 - ②映画・映像制作に関する実務経験を 1 年以上有する方
 - ③自主制作作品等の制作経験を有する方
- ・将来的に映画・映像分野での活動を志している方
- ・海外の映画制作手法を学ぶ意欲を有する方
- ・他の受講者と協力しながら作品制作に取り組み、講師や他者からの助言やフィードバックを前向きに受け止める意欲を有する方
- ・原則として全ての日程に参加できる方
- ・群馬県が実施するアンケート等に協力できる方

(2) 受講に必要な環境要件（オンライン講座のみ）

- ・ Adobe Premiere Pro がインストールされた PC
- ・安定したインターネット環境
- ・ Zoom 等によるオンライン講義を受講できる環境

(3) 語学力・コミュニケーション能力について

講義は英語で実施しますが、日本語通訳を配置するため、英語力は必須ではありません。ただし、海外講師や他の受講者との交流に積極的に取り組む意欲があることを期待します。

5 応募方法

(1) 募集期間

① 脚本家コース

2026 年 8 月 12 日(水)～9 月 7 日（月） 23:59 まで

② 監督コース・プロデューサーコース

2026 年 8 月 12 日(水)～10 月 5 日（月） 23:59 まで

(2) 応募方法

以下の URL または二次元コードから申込みフォームにアクセスし、必要事項を入力してお申し込みください。

(URL : <https://amarys-jtb.jp/nyfa-collaborative2026/>)



(3) 選考方法

応募者数が募集定員を超えた場合は選考を行います。選考では、応募書類の内容をもとに、本講座で学ぼうとする意欲、新しい知識やフィードバックを柔軟に受け入れる姿勢、映画・映像制作への継続的な関心や取組、グループ制作における協調性及び主体的な参加姿勢、本講座での学びを今後の活動につなげようとする意欲等を総合的に評価します。

(4) 参加決定の連絡

全ての応募者に対し、脚本家コースの応募者には 2026 年 9 月中旬までに、監督コース・プロデューサーコースの応募者には 2026 年 10 月中旬までに、申込みフォームに記載いただいたメールアドレスあてに事務局から選考結果をお送りします。

受講が決定した方には、参加費の支払方法、キャンセルに関する取扱いその他受講に必要な事項を併せてお知らせします。

申込み後に参加できなくなった場合は、速やかに群馬県に連絡をお願いします。

6 参加費

区分	金額
学生（県内在住・在学・在勤者）	45,000 円
学生（上記以外）	54,000 円
一般（県内在住・在学・在勤者）	60,000 円
一般（上記以外）	90,000 円

※学生区分又は県内在住・在学・在勤者区分での受講を希望する方は、受講決定後、その事実を証明する書類を提出してください。提出書類を確認の上、適用する区分を決定します。なお、参加費は、本事業の受託事業者である株式会社 JTB 群馬支店が提供するサービスの対価としてお支払いいただきます。

(1) 参加費に含まれるもの

- ・ NYFA 講師による講義・指導
- ・ 対面ワークショップ時の機材使用料
- ・ 撮影実習時の出演者（俳優）の手配及び謝礼
- ・ 撮影実習時の交通費（群馬県庁とロケ先間の移動）
- ・ 撮影実習時の小道具（1 グループにつき上限 1 万円程度）

(2) 参加費に含まれないもの

- ・ オンライン講座受講用 PC
- ・ インターネット通信費
- ・ Adobe Premiere Pro 利用料
- ・ 対面ワークショップ会場までの交通費及び県庁駐車場料金
- ・ 対面ワークショップ会場周辺に宿泊する場合の宿泊費
- ・ 対面ワークショップ時の食費
- ・ 対面ワークショップ交流会の参加費（参加任意・6,000 円程度）

7 その他

(1) 作品の著作権及び利用について

本講座において制作された作品の著作権は、原則として当該作品の制作者に帰属します。ただし、群馬県は、本事業の実施、成果報告、記録、広報その他本事業に関連する目的のため、制作作品を無償かつ非独占的に利用（複製、上映、公衆送信、編集、翻案等を含む）することができるものとします。応募者は、当該利用について同意いただける方を対象とします。

(2) 写真・映像等の撮影及び広報利用について

講座期間中は、事業記録及び広報を目的として、群馬県又は群馬県が委託する事業者が写真撮影等を行う場合があります。撮影した写真等は、群馬県及び関係機関等の広報媒体において使用場合があります。また、本事業に関して、報道機関による取材及び撮影が行われる場合があります。取材内容には、受講風景の撮影や受講者へのインタビュー等が含まれる場合があります。応募者は、これらの撮影、取材及び広報利用について同意いただける方を対象とします。

8 問合せ先

群馬県知事戦略部エンターテインメント・コンテンツ課

電 話：027-898-2895

メール：entameka（アットマーク）pref.gunma.lg.jp

※「(アットマーク)」を@に置き換えて送信してください。

(参考) ニューヨークフィルムアカデミー

世界的に有名な映画、メディア、パフォーマンスアーツのカレッジであり、学士・修士の学位を取得できます。また、短期ワークショップ、1・2年間のプログラム、認定コース、オンラインクラス、小中高生向けのサマースクールを提供しています。ニューヨーク、ロサンゼルス、フィレンツェにキャンパスを持ち、世界各地でワークショップを開催しています。実践的かつ体験型の学習方法で知られ、映画制作、演劇、脚本、撮影技術、プロデュース、ゲームデザイン、ミュージカル・シアター、写真などの業界でプロとして活躍する教員のもと、実践的な経験を積むことができます。

(参考) デジタルクリエイティブスクール（仮称）

群馬県では、エンターテインメントを核とした「デジタル・クリエイティブ産業」創出を目指しており、それを担う世界トップレベルの人材を育成する新たな機関「デジタルクリエイティブスクール（仮称）」を構想しています。本事業は、そのプレ開設事業として実施するものであり、世界的な映画教育機関である NYFA と連携し、国際水準の映画制作教育を県内で提供することを目的としています。